ライオンズクラブ国際協会
336－A地区 2R4Z

西条

2014－2015
9
No. 447

Topics

第２４回西条ライオンズカップ中学生ソフトテニス大会
会員短信（クラブ国際交流を振り返る）
（四国遍路　～ ご開創 1200 年～）
（西条祭り　～　歴史うんちく～　）

2014-2015 年度　ライオンズクラブ国際協会会長　ジョセフ・プレストン

テーマ　「Strengthen the PRIDE－誇りを高める」

2014-2015 年度ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー　木　内　千　春

スローガン　「新たな気持ちで」We　Serve

キーワード　「ヴィジョン共有」

2014-2015 年度　２Ｒ４Ｚ　西条ライオンズクラブ会長　伊　藤　正　己

スローガン　「忍耐と寛容の気持ちで　ＷＥ　ＳＥＲＶＥ」

第 24 回西条ライオンズカップ中学生ソフトテニス大会を終えて

【　西条市ソフトテニス連盟より　】

拝啓　立秋も過ぎましたが酷暑の日々が続いております。西条ライオンズクラブの会長様はじめ会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、第 24 回西条ライオンズカップ中学生ソフトテニス大会は、貴クラブから多大なご援助を頂き、8 月 17 日(日)に西条市東予運動公園テニスコートにおいて、盛大に開催することができました。

大会当日の開会式においては、伊藤正己会長様より開会のお言葉を頂戴するなど、ご多忙にも関わらず格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

なお、大会の結果を同封していますのでご査収下さいませ。

以上、取り急ぎの御礼とともに、末筆ながらご一同様のご多幸をお祈り申し上げます。　敬具

平成 26 年 8 月 26 日

西条市ソフトテニス連盟
会　長　石川　英機
理事長　玉井　誠治

西条ライオンズクラブ
会　長　伊藤正己様

青少年育成事業

西条ライオンズカップ中学生ソフトテニス大会

開催報告

青少年指導委員　松浦　裕

８月１７日、夏の恒例の大会が東予運動公園で行われました。当初予定では、８月１０日開催予定でしたが、台風の襲来で１週間遅れとなりました。上記大会は、平成２年、青少年の健全育成を目的として当時西条ソフトテニス連盟会長になりたての私に、ライオンズクラブの名称を使った中学生の大会を開き、協賛をお願いできないだろうか・・・との連盟の皆様よりの依頼を受けて、クラブと折衝の上実現、発足したものです。大会の趣旨としては、心身ともに発達の著しい中学生１、２年生の夏休み期間の１日を勝負だけにこだわらず、日頃試合にレギュラーとして出場できない子も、希望する生徒全員を出してあげて、楽しく試合をして青春の思い出を作って欲しいというものでした。したがって学校対抗戦の要素の強い団体戦は行わず、全て個人戦となっていて、この姿勢は回数を重ね、第２４回となった今も変わらずに続けられています。

発足時は、市内４中学が対象でしたが、平成１６年の市町村合併のあとは参加校も１０校に増えて大規模な大会となりました。今年は雨天順延で、開催日がお盆と重なったこともあってか、エントリーしていても休んだ子供さんも多くて例年よりは少なめでしたが、それでも男子８６組（172 名）、女子５５組（110 名）、合わせて 282 名もの生徒が集まり、熱戦が繰り広げられて無事に大会を終えることができました。

昨年は大会横断幕を寄贈していただき、子供達も一層やりがいが出てきたことと感じています。今後ともこの大会が益々盛り上がっていくことを願って報告といたします。

【　男子戦成績　】

優　勝　伊藤・日野ペア（西条南）
準優勝　伊藤・柳原ペア（西条南）
３　位　越智・越智ペア（西条東）
３　位　盛實・高橋ペア（西条南）

【　女子戦成績　】

優　勝　佐々木・豊田ペア（東予東）
準優勝　加藤・野口ペア　（西条北）
３　位　清水・山之内ペア（西条西）
３　位　西原・竹箇平ペア（西条南）

「西条ライオンズクラブと姉妹クラブニューヨーク　ホストライオンズクラブ　そして、垂水ユカコ女史とのこれまで」

神　野　顕　彰

当クラブは1961年ライオンズクラブ国際協会より認証状の伝達をもって愛媛県で9番目、日本で334番目に設立され間もなく60年の節目を迎えようとしている。敗戦10年を経た当時の日本社会は、その混乱と収拾そして、その未来を模索する中にあって次々とライオンズクラブは日本各地に誕生する。現在では世界第3位のライオンズ大国となった。
ライオンズクラブの「奉仕」すなわち支え合う社会の実現は、長い歴史と多様な自然の中で醸成された「おかげさま」の心とあいまり自然に受け入れられたものと思う。
只、当時の風潮からすると知識人や社会的信用のある人、経済的余裕のある人、等・・・で構成されていったことは仕方ないところではあるが、今では多彩かつ有為なる会員のもと、ここぞという時には一致和合し精力的な奉仕活動を展開していることを会員等しく「誇り」に思うものでもある。
そんな西条ライオンズクラブの国際交流史を紐解くと、1965年の梅山博士のインド救済事業への義援金に始まり、ボーイカウト世界ジャンボリーに参加する市内ボーイスカウトへの支援事業、インドパキスタン戦争難民救援事業、活発なる交換学生事業、そして1975年のハワイ・エアポートライオンズクラブとの姉妹提携を皮切りに国際児童年を記念してのチャリティーバザー、アフリカ飢餓救援募金とチャリティーバザー、インド・アンナマライ大学へ西条ライオンズ奨学金の創設、そして1990年、西条で開催のニューヨーク市で音楽教室を主宰する垂水優香子女史とニューヨークホストライオンズクラブ会員であったリーコック女史が活躍する少年少女合唱団と西条少年少女合唱団交流コンサートへとつながっていく。

以後、我がクラブの国際交流はハワイ、ニューヨーク、インドやスリランカ等々と、クラブ独自の交流を展開し、現在に至る。その縁を育み、成果をもたらす事ができたのは、数多の会員諸氏が温めてきた友情によるところが大である。ハワイとの交流は、故 砂田歯科医師と坂田歯科医師、インドとの交流では、元愛寿会病院医師の野田先生、山崎常行氏、花山志郎氏、ニューヨークとは篠原秀行医院長と吉峯歯科医師、明比昭治氏等々である。

そして、我が西条ＬＣと繋がりのある、垂水優香子氏率いるニューヨークバイオリニスツ教室の生徒と西条の少年少女合唱団のコンサートが、西条市合併１０周年記念事業として、本夏、久方振りに開催された。勿論、明比昭治氏と垂水女史との友情がなすところでもある。
会員の皆様には是非ともお子さんやお孫さんを伴い、ニューヨークと西条の親善交流の成果を楽しんで頂き、更なる交流発展へとつなげる出逢いの場となることを念願する次第です。

またこの機会に、短い来西スケジュールの中、垂水ユカコさんに時間をとっていただき、当時交流のあった、我がクラブメンバーが再会と思い出話にささやかな会を行った。
ニューヨークに、メンバーが訪問した際のエピソード等、皆、懐かしみ、しばし時間を忘れ楽しい宴となった。その中で、ニューヨークに住む垂水氏だからこそ見える「今の日本人」のマナーの悪さ等をお話しいただき、同じ日本人として、時代や環境は変わってもなくしちゃならない心、プライドの大切さを痛感したことが今も胸に残っている。末尾となりましたが、西条ライオンズクラブの国際交流史はクラブホームページに要約されているのでご参照あれ。

垂水女史に同行されていたロータリークラブの元ガバナーとバナー交換しました

会員短信

西条市合併10周年記念
石鎚山登頂証明記念取得回想録

伊藤　稔

平成２６年７月２日と、２３日、８月２４日に石鎚山頂へ行きました。
毎年この時期に登山を心がけるようになったのも健康のため、たくさんの人たちに出会えるから、と自分で勝手に理由をつけているからです。
とにかく何回でも登れる間は、登ろうという理由からでした。
景色はいいし、汗は滝の様に流れるし、空気は美味しく野鳥の鳴き声をバックミュージック代わりに聞きながら歩けるし、なんと言っても日本屈指の霊山です。お山そのものが、御神体です。感謝して、謙虚に自然のなすがままを素直に受け入れて登攀（とうはん）します。「おのぼりさん」「おくだりさん」、この時期は、登る人、下る人、声を掛け合います。お山市の時は前後を、広島から来た２０代の信者さんに挟んでもらって天狗岳まで行きました。天狗の岩に行き、ここが西日本最高峰かと実感が湧きました。屋久島の永田岳も、これくらいの標高はあったかと思います。その日は、無事に下山しました。数日間に亘る

筋肉痛を耐え抜くと、また登りたくなります。現役の頃の体重にさらに４０㌔のお肉を担いでいるため、もう荷物は５キロ分しか担げなくなりました。
ある日、西条市報に７月２０日から、石鎚山登頂記念に西条市合併１０周年記念品の無料支給という記事を見つけ、今度はそれが欲しくてまた、登る決意をしました。
７月２３日に登頂し、頂上の石鎚神社で記念品を受け取り、記念品と記念撮影をしました。いただくと、子供の頃にお菓子をもらった時の様な感覚になりました。また、行きたくなり、８月２４日に登頂、次の予定は１０月です。
皆さんにも石鎚山登頂の感動をぜひ、私と分かち合っていただきたいものです。

会員短信　ご開創　1200 年　四国遍路

藤田公道

お大師さまが弘仁６年（８１５年）にご開創されたと伝えられております四国八十八個所霊場は平成２６年にご開創１２００年の吉祥の年を迎えます。
この１２００年に亘る永き間、お大師さまを慕う人々の心の拠り所として、また修行の道場として地域の皆さま方に支えられ、幾多の歴史を育みながら「お四国」は発展してまいりました。

四国遍路はお大師さまと共に歩む「同行二人」という大きな心の支え、内海の穏やかさと外洋の厳しさを併せ持つ四国の風土、「お接待」という地域住民の温かい支え。これら３つの要素により熟成されてきた四国独自の文化です。自然災害・経済不安・国際摩擦など、昨今我々を取り巻く環境は厳しさを増し、多くの方々が漠然とした不安と焦りの気持ちを抱えながら生活しています。このような世情にあって四国遍路は心の痛みを被った人々を癒し、勇気づけ、社会貢献を促し支援へと立ち向かう思いやりの精神を育む大きな一助になるものと信じております。本年は愛媛県美術館をはじめ、他３県の博物館・美術館で四国八十八ヶ所札所に伝わる貴重な文化財や四国外に伝来するお大師さまゆかりの宝物などが展示されたり、各寺院においても様々な行事が予定されております。

永い年月、多くの先人が足跡をしるしたお大師様と共に歩む「同行二人」の霊場である四国八十八ヶ所霊場をこの機会に是非、ご家族お揃いで遍路されてみてはいかがでしょうか。

会員短信

西条祭りを３倍楽しむ方法

・・・　西条祭り「歴史うんちく」を知る　・・・

太田正宏

「西条祭りを３倍楽しむ方法」と言っても、誰が楽しむのか、3 倍の意味は何か、楽しむ価値観は人によって異なるのではないか、と言う疑問が湧いてきますので、記述できたとしても意味のない方法論になる可能性が高いと考えました。つまり・・・

・祭りを執行する人か、屋台（だんじり）の責任者か、かき夫か、観光客か、屋台裏方さんか、町内の炊き出しさんかなど、千差万別の立場がある

・２倍ではダメなのかという視点や基準が明確でない

・そもそも、楽しいという感覚は、個人の価値観により決まるので、3 倍といっても意味がないと言うことですので、今回は、お祭りをより堪能するためには“西条祭りに関係する本当の歴史”を知る必要があるとの考えから、西条祭りに関する「歴史うんちく」について、一部ですが以下に紹介させていただきます。知っていたら、間違っていたら、ごめんなさい。先にあやまっておきます。

○　伊曽乃神社の例祭日が 10 月 15・16 日になったのは、昭和 17 年からである。

○　昭和 30 年頃の西条祭りでは、中野一番が魚屋町と喧嘩し、大破。神戸地区、大町地区の屋台は自部落に帰ったが、神拝地区の古屋敷、原之前の 2 台が巡行した。

○　屋台同士をぶつける喧嘩は、昭和 15 年から 35 年くらいまでに集中して行われたが、小部落で屋台を保有しているため、損害賠償額が大きく次第に激減。

○　一般的にだんじりは神様が宿らない単なるダシであるが、伊曽乃神社の屋台は依代（よりしろ：神霊のよりつくもの）である。

※伊曽乃祭礼細見図をよく見ると「ちげ」が吊るされている屋台がある。

（伊曽乃神社　堀川禰宜より）

○　1840 年代（天保年間）以前は、新居浜も西条も同じ台車・屋台（だんじり）祭りをしていた。

※　新居浜太鼓祭りの始まりは、1823 年（文政 6 年）東町太鼓の製作から。

（「船大工仲間永代迄の諸覚書」より）

○　屋台の破風（屋根）を初めて巻き龍彫刻で飾ったのは大正 12 年の横黒屋台である。

○　西条と岸和田のだんじりルーツは、同じである可能性が高い。（前回報告済）

※現存する岸和田最古のだんじり「旧五軒屋町だんじり」の欄干・隅障子、全体の作り形状から。

○　江戸城下にある西条藩下屋敷（渋谷・ＮＨＫ放送センター）の隣の藩は、なんと大阪・岸和田藩（国立代々木体育館他）であった。ちなみに、上屋敷は現青山学院大学キャンパス。

※江戸時代に、だんじり交流があったのかは不明。

○　西条陣屋町（大師町、中野町、本町、紺屋町、横町、魚屋町、北町、東町、新町、栄町）は、一柳氏が大町から商人を移して作った。

前年度青少年指導委員会事業

公立ひまわり幼稚園園庭芝生化事業の現状調査報告

青少年指導委員会委員長　森下雄一

先日、8 月 12 日の例会の後、ひまわり幼稚園に訪問し、芝生の状態を見てまいりました。
夏休み中なので園児も先生もいませんでしたが、園長先生がいらっしゃったので事業後のお話を聞くことができました。
3 月 23 日に芝張りをしてから根付くまでの間は、あまり園庭で遊ばせてあげられなかったこと。肥料があわなかったせいか、一部根腐れをさせてしまったこと。暑い日が続いたため、水やりをしっかりした結果、水道料金があがってしまったらしく、市役所から問い合わせがあったことなど、色々御苦労なされていたみたいです。

芝生の状態につきましては、多少まばらな所はありますし、寄贈した芝刈り機をまだ使用していないようですので、きちんと生えそろうまでには至っていない状態です。しかし、園長先生からは、この事業に対して本当に感謝しております、とのお言葉をいただきました。
園児の皆さんは、まだ幼いけれど、この事業のことをきちんと理解されているようで、芝生の成長をとても喜んでいるそうです。園庭の芝生が園児たちの良き思い出となるようにと願い、休みの日も暑い日も芝生の世話を園長先生がしていることを聞き、とても感動いたしました。何か、お手伝いできることはないでしょうかと問いかけましたところ、おひとりで管理しているので草引きが間に合わないそうです。そこで、草引きのお手伝いを提案いたしましたら、大変喜んでいただきました。時期は、今は暑いので 9 月の運動会前が助かりますとのことでした。9 月 27 日(土)が運動会ですので、前の週の 9 月 20 日(土)で計画しようかと考えております。その時には、メンバーの皆様のご協力をいただければと願っております。

編 集 後 記

朝晩がめっきり涼しくなり、周りも風邪をひいている方が増えているみたいです。
今夏は日照時間が短く、週末になると雨、それもゲリラ豪雨と呼ばれるような激しい雨が降り、気がつけばもう秋を感じます。メディアでは、「デング熱」が国内感染し、愛媛にも１人の感染があるそうです。耳慣れない言葉で、感染などと聞くと身構えてしまいますが、感染しても１週間くらいで落ち着くそうです。ともあれ、自分自身の体力さえつけていれば、軽い病気には打ち勝てるはず！
毎日の生活を、規則正しく、適度な運動も取り入れつつ、「スポーツの秋」「食欲の秋」「祭りの秋」を満喫いたしましょう。

発行者　会　長　伊藤正己
幹　事　加藤弘道
ＰＲ・広報委員長　盛實正人
編集委員　小野雅志・加藤誠也・加藤　茂
太田正宏・武智正人・福島　譲

例会日　毎月　第２・第４火曜日（12：30～13：30）
例会場　西条国際ホテル
発　行　西条ライオンズクラブ事務局
印　刷　プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ

〒793－0030　愛媛県西条市大町 771－1
西条国際ホテル1 F
TEL(0897)56－3980
FAX(0897)56－9251
E－mail　saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://saijo-lions.org
facebook　http://facebook.com/saijo.lions/